

---

# 唇で交わす(大鳥ksg × wkb)

エイノジ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

唇で交わす（大鳥ksgxwb）

### 【Nコード】

N7952Y

### 【作者名】

エイノジ

### 【あらすじ】

（大鳥ksgxwb）

夢をみた

とても残酷な夢だ

俺はバイクに乗っているときに、乗用車に跳ねられて意識不明になる夢

呼吸が段々薄くなっていた俺に、偶々側に居た春日が人工呼吸をする

それだけならまだ良かった

一命をとりとめた俺は起き上がり、何故か隣に横たわる春日の姿を目にした

春日は頭から血を流している

光沢を持った血液を額に垂らし、うつ伏せに…

何故だ

事故に遭ったのは俺じゃないのか

訳が分からなくなり、文字通り頭を抱えると、ヘルメットにかつんと当たる

いや、確かにバイクに乗っていたのは俺だ

事故に遭ったのも俺だ

呼吸困難になったのも俺だ

春日に助けられたのは、俺だ

倒れているのは、春日だ

「、すが…」

俺を助けた代わりに春日が呼吸困難になった？

いや違う、頭を打ったような形跡がある

「おい春日、春日！」

体を揺さぶると、うつすら目を開き

「」

「聞こえねえ…何て言ったんだ、春日、おい！！春日！！」

「」

春日の手が伸びて、俺の後頭部を弱々しく掴むと、ゆっくり引き寄せられ、近くに…

と口が動いたのが分かった

「何だ春日、」

そしたらアイツ、何て言ったと思う？

…何も言わずにキスした

このバ春日

(後書き)

エムプロ！バトン倉庫

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7952y/>

---

唇で交わす(大鳥ksg x wkb)

2011年11月23日18時50分発行